



大学院『専攻別3つのポリシー』

〈学位授与方針〉 〈教育課程の編成・実施方針〉 〈学生の受け入れ方針〉

人文学専攻博士後期課程

1. 学位授与方針 (ディプロマ・ポリシー)

人文学専攻では、次のような能力と資質を有する人材を養成します。

- 1 言語・文学・思想・芸術など、人間が創り出してきたあらゆる文化、社会の諸相について、そして人間の本質についての深い関心と学識。
- 2 専門領域の枠組みにとらわれず、自ら課題を発見する、独創的で豊かな研究能力。
- 3 研究者や教育者などとして、他の研究者と協働しつつ人間の文化・社会の発展に寄与する能力。
- 4 研究者や教育者などとして、国内及び国際社会において高度に専門的な業務に従事するために必要な能力。

2. 大学院専攻の教育課程の編成・実施方針 (カリキュラム・ポリシー)

人文学専攻では、学位授与方針に基づいた次のような方針で教育課程を編成し、実施しています。

- 1 「英語・英文学」「日本語・日本文学」「哲学・美学」の三領域において、それぞれ専門的知識を深めるためのカリキュラムを編成し、充実したコースワークを実現。
- 2 専門領域の枠組みにとらわれず幅広い知識を得るため、三領域の共通科目を置き、また相互の専門科目の履修を認める。
- 3 2に加え、さらに多面的で柔軟な視座を獲得して博士論文の完成度を高め、またあらゆる分野への発信力を鍛えるための、三領域の合同授業である「共同演習」を設置。
- 4 「共同演習」の一部として、様々な分野において活躍している研究者を招き、社会における研究のあり方や貢献を学ぶ機会を提供するための講演を実施。
- 5 高度に専門的、独創的な博士論文を作成するために十分な論文演習科目（リサーチワーク）を設置。また、複数指導体制を実施。

3. 学生受け入れ方針 (アドミッション・ポリシー)

人文学専攻では、入学者の受け入れにあたって、次のようなことを重視します。

- 1 言語・文学・思想・芸術など人間が創り出してきたあらゆる文化、社会の諸相について、そして人間の本質について、知的探究心を持ち、人文系の学問に必要な専門的知識、論理的思考力を有すること。
- 2 独創的で明確な研究課題を持ち、研究計画の見通しを立てていること。
- 3 将来研究者・教育者として自立し、本専攻で得た知識や能力を、積極的に社会に還元することを目指していること。



大学院専攻別『目指す修了生像』

人文学専攻博士後期課程

4. 教育研究の目的と目指す修了生像

人文学専攻は、言語・文学・思想・芸術などを通して人間の本質に迫ることを目標とする。本専攻では特に「英語・英文学」「日本語・日本文学」「哲学・美学」という三つの柱を立てて教育・研究を行っているが、個々の専門領域にとどまらず学際的な視点をもった人材の育成を目指している。本専攻の学生は、博士論文の作成に向けて教員の綿密な指導を受ける。修了者は本格的な学術研究の道を歩むほか、在学中に培った高度な教養と専門性をもって社会のさまざまな分野で活躍することが期待される。

(2018年3月7日更新)